

御施主様・御入居者様・管理者様用

ドアクローザ取扱説明書

お願い

- 取付けをされる業者の皆様へ
本書は必ず御施主様、御入居者様または管理者様へお渡しください。
- 御施主様・御入居者様・管理者様へ
当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
商品を正しくご使用いただくために、この「ドアクローザ取扱説明書」をよくお読みください。
いつでもお読みになれるように大切に保管してください。

1. ドアクローザの機能説明とお願い

- この商品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化や窓などの開閉によって、誘発される屋内の気圧の変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますのでご注意ください。
ドアの閉じる速度は、速度調整弁によりコントロールすることができますので、裏面に記載した方法で調整してください。また、閉じているドアを閉じる方向に強く押ししたり引いたりしないでください。強制的な閉扉操作はドアクローザ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。
- ドアクローザ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合には、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼をしてください。放置しておく、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬけがをしたり、正しく組み立て直すことができなくなります。

2. お手入れ方法

- 本体およびアームなどの取付ネジに緩みが生じていないか時々点検してください。緩んでいた場合はネジを締め直してください。
- 腐食予防のために本体およびアームは時々掃除をしてください。また、結露が生じた場合は乾いた布で拭いてください。

3. 異常を感じられた際の対処方法（調整が難しい場合には、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様にお問い合わせください。）

現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼願います
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁	ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
ドアが所定の開放停止位置で止まらなくなった(ストップ付き)	ストップネジの緩み	ストップ装置	ストップ角度調整方法を参照願います
ドアがスムーズに開まらなくなったり異音が生じるようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	1・2速のバランスが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います

リョービ株式会社

札幌 〒062-0937 札幌市豊平区平岸7条14-3-48 ☎(011)811-8232
 仙台 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-2-38 ☎(022)237-6201
 東京 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03)3927-5533
 富山 〒939-8214 富山市黒崎2-3-2 ☎(076)493-2225
 名古屋 〒468-0034 名古屋市中区久方1-145-1 ☎(052)807-1643
 大阪 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(072)685-1113
 広島 〒736-0082 広島市安芸区船越南3-7-29 ☎(082)823-0028
 福岡 〒811-2305 福岡県糟屋郡粕屋町袖須107-1 ☎(092)623-5000

ドアクローザ取扱説明書

取付けをされる業者の皆様へ
本書は必ず御施主様、御入居者様または管理者様へお渡しください。
取付に関しては別紙(取付説明書)を参照してください。

ドア閉じ速度(スピード)調整方法・ドア開閉力調整方法

① 1バルブタイプ (A)

S101PVシリーズ

速度調整弁
開閉力調整ネジ
速度調整区間
約70°
約90°
180°

・ドア閉じ速度(スピード)調整
 ⊕ 右(時計の方向)にまわすと閉じ速度は遅くなります。
 ⊖ 左(時計と反対の方向)にまわすと閉じ速度は速くなります。

注意
 ・速度調整弁は合成樹脂で出来ていますので、ドライバーの先端を十字溝に確実に合わせ調整しないと溝が破損する恐れがあります。
 ・調整には電動ドライバーは使用しないでください。
 ・速度調整弁は2回転以上左にまわさないでください。

・ドア開閉力調整
 ⊕ 左(時計と反対の方向)にまわすと開閉力は弱くなります。
 ⊖ 右(時計の方向)にまわすと開閉力は強くなります。

注意
 ・開閉力調整ネジを左右に無理にまわすと破損するおそれがあります。
 ・本体に貼付の開閉力確認シールを参考に調整してください。
 ・工場出荷時の開閉力は最大にセットしてあります。(初めは右にまわりません)

② 1バルブタイプ (B)

80シリーズ

速度調整弁
第2速度調整区間
約90°
第1速度調整区間
180°

・ドア閉じ速度(スピード)調整
速度調整は、第1速度・第2速度の順に行ってください。

第1速度調整区間
⊖ 右(時計の方向)にまわすと閉じ速度は遅くなります。
⊕ 左(時計と反対の方向)にまわすと閉じ速度は速くなります。

第2速度調整区間
取り付け状態で弁の回転を90°の範囲で調節してください。
ドライバー溝を垂直位置に近づけると速くなり、水平位置に近づけると遅くなります。

注意
 ・速度調整弁のドライバー溝を垂直または水平位置に止めることは避けてください。
 垂直位置 水平位置

・ドア開閉力調整
本品は、開閉力の調整は行えません。

ドアクローザ商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店様、工務店様、販売店様または最寄りの当社支店営業所に修理をご依頼ください。

保証期間

- 施工者よりの引き渡し日(注1)(注2)から開き戸用、引戸用共2年間(電装部品は1年間)。
 (注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。
 (注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書またはその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

- 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理になります。
- 施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
 - 商品の性能または適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を越えたドアの使用または越えた場所に取り付けられたことに起因する不具合
 - 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
 - 建築躯体の変形などに起因する不具合
 - 結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
 - 商品または部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の劣化、変質、変色など)またはこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
 - 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - 引き渡し後のドアの操作誤り、ドアクローザの調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
 - 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店営業所にお問い合わせください。

RYOBI doorman 型式S-101PV/S-101PVH 取付説明書

79828436

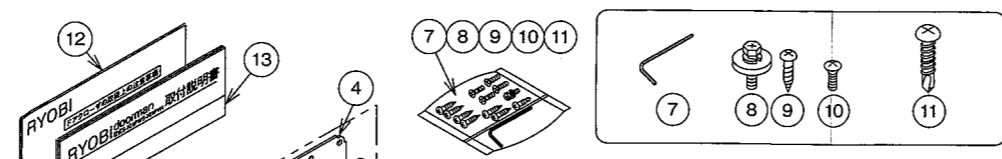
このたびはリョービドアマンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。リョービドアマンを正しくお使いいただくために、本取付説明書を充分にお読みになり、お取付けくださるようお願い申し上げます。

○取付け作業に入る前に

- ・取付方法につきましては、当社ホームページで紹介しています。
http://www.ryobi-group.co.jp
- ・必ず取付説明書を1から順にお読みになり、取付けを行ってください。
- ・ドアを押して開く側に取付けるタイプです。
- ・ドア開き方向の左右開きは共用です。(1を参照ください。)
- ・室内木製ドアおよび木製ドア枠専用商品です。
- ・ストップ付きです。(ストップなしにはできません。)
- ・ドアマンを取付けた後は、ドアを開くとき取付前よりは少し重く感じられます。
- ・本体の軸(下図を参照ください)は、ドアに取付ける前に回転させないでください。回転させたまま取付けを行いますと、故障の原因となります。

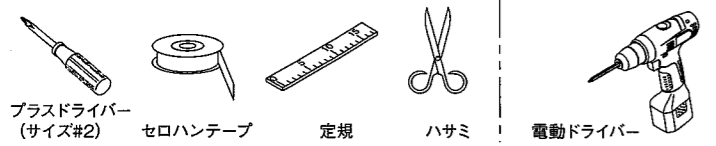


○梱包内容

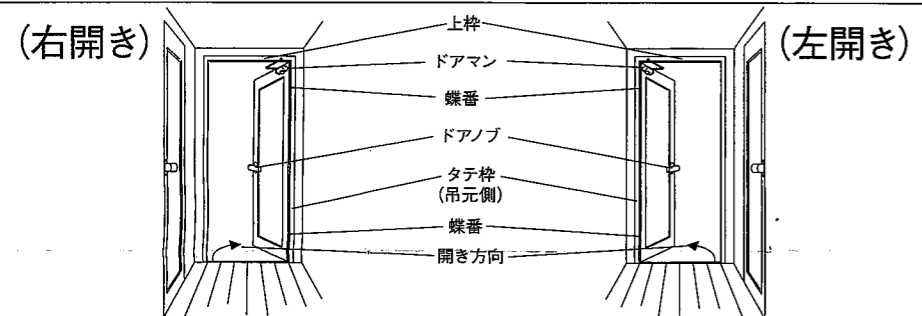


No.	部品名称	員数
①	本体	1
②	アーム・リンク(連結品)	1
③	D型ブラケット	1
④	取付板	1
⑤	ブラケット・リンク結合用ネジ ⑥六角ボルト(3点セズ) M5.L=12	1
⑥	カバー	1
⑦	六角棒スパン(1/8インチ)	1
⑧	本体・アーム結合用ネジ ⑨六角ボルト(3点セズ) M5.L=12	1
⑨	取付板・ブラケット取付用ネジ ⑩タップピンネジ(ナベ) L=25(1種)	6
⑩	本体・取付板結合用ネジ ⑪丸頭小ジ M5.L=8	4
⑪	下穴加工ネジ ⑫ドリルネジ(ナベ) 径4.L=25	1
⑫	取扱説明書	1
⑬	取付説明書及び取付型紙	1

○取付けに必要な工具



1. ドア開き方向 扉を押し開く側に立って確認してください。



2. ブラケット選定

ドアの上枠のかたちをお確かめの上、下表の3つの図の中からあてはまるものをつお選びください。図に記されたブラケットを使用します。

図	上枠の寸法	推奨ブラケット
1	20ミリ以下 17ミリ以上	D型ブラケット
2	22ミリ以上	D型ブラケット
3	30ミリ以上 14ミリ以下 22ミリ以下	L型ブラケット(オプション)

注意 上枠形状3の場合L型ブラケット(オプション)を使用します。必要な場合は販売店にてお買い求めください。

3. 型紙選定

① ドアの開き方向(1)をお確かめの上、下図の上段(左開き用)または下段(右開き用)を決めてください。上枠形状から使用する型紙を選んでください。選んだ型紙1~型紙6の1つを右面とそのウラ面にある取付型紙の中からキリトリ線に従って切り取ってください。

開き方向	上枠形状	型紙
左開き用	D型ブラケット (20mm以下, 17mm以上)	型紙1
	D型ブラケット (22mm以上)	型紙2
	L型ブラケット (30mm以上, 14mm以下, 22mm以下)	型紙3
右開き用	D型ブラケット (20mm以下, 17mm以上)	型紙4
	D型ブラケット (22mm以上)	型紙5
	L型ブラケット (30mm以上, 14mm以下, 22mm以下)	型紙6

② ドア開き角度の確認

ドアの開き角度を確認してください。

90°タイプ(約90°までしか開かない) 90°以上タイプ(90°以上開く)

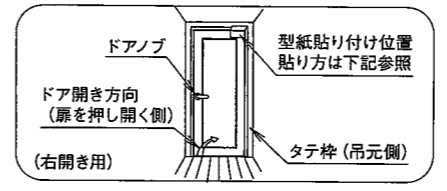
注意 隠し蝶番、フラット蝶番との併用はできません。ストップが機能しない可能性があります。

○ストップ角度(ドアと蝶番の条件によりストップ角度が異なります)

型紙	ドアの開き角度	3-③ ドア厚さ+蝶番の寸法						
		40mm	52mm	65mm	取付穴			
左開き用	右開き用							
型紙1	型紙4	90°以上	74°~82°	A	68°~76°	A	63°~71°	A
型紙3	型紙6	約90°	72°~80°	B	67°~75°	B	63°~71°	A
型紙2	型紙5	90°以上	76°~84°	A	70°~78°	A	64°~72°	A
		約90°	72°~80°	B	67°~75°	B	64°~72°	A

ウラ面につく

取付型紙(右開き用)



取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。
2. 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。

型紙4 (右開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板とブラケットの取付穴位置①②を決めてください。

注意 A,Bの選択は取付説明書(裏面)の3-③を参照ください。

型紙5 (右開き用)

取付位置決め順序

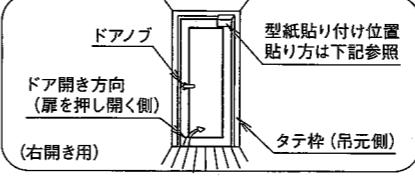
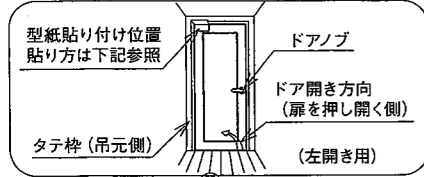
1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。
2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。

型紙6 (右開き用)

取付型紙 (左開き用)

取付型紙 (右開き用)

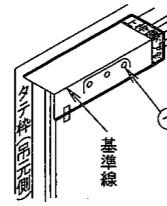


型紙1 (左開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。

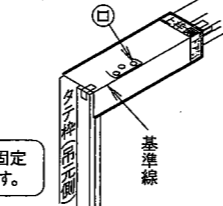
下図1参照
A,Bの選択は取付説明書3-③を参照ください。



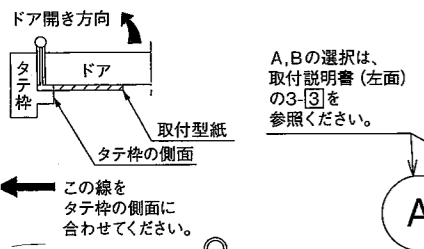
2. 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。

下図2参照

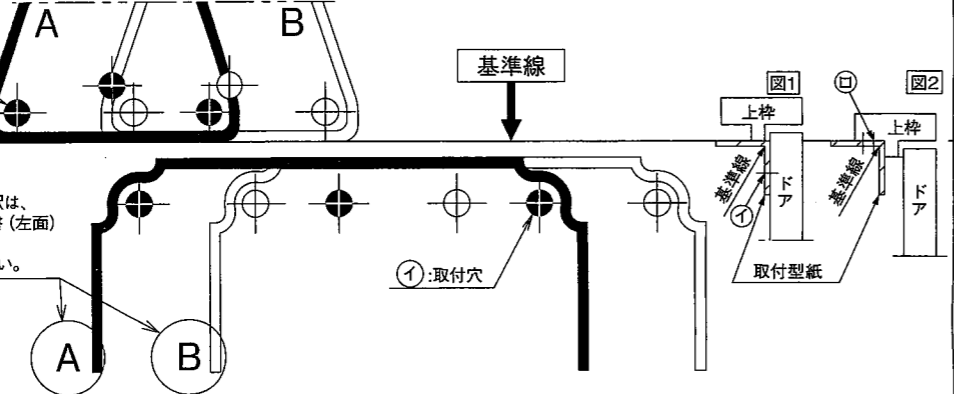
注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。



上枠側



A,Bの選択は、取付説明書(左面)の3-③を参照ください。



ドア側

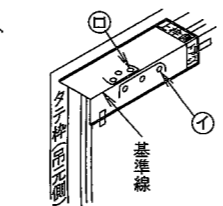
型紙2 (左開き用)

取付位置決め順序

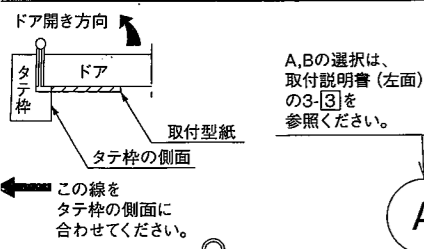
1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板とブラケットの取付穴位置①②を決めてください。

下図1参照

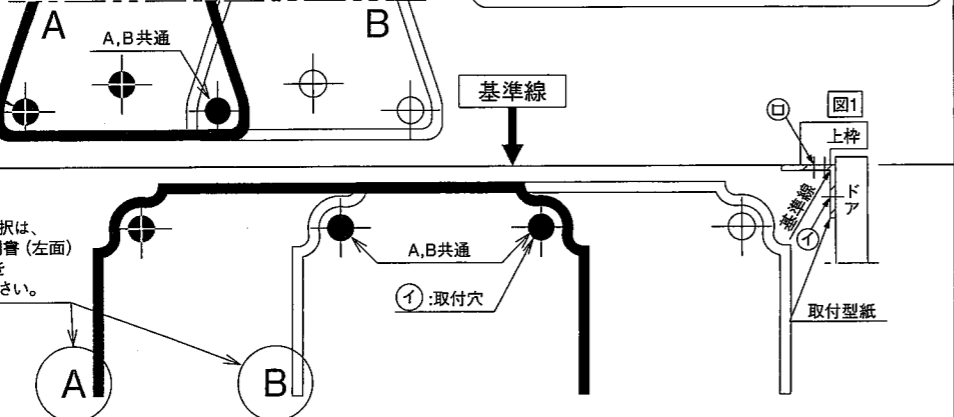
A,Bの選択は取付説明書3-③を参照ください。



上枠側



A,Bの選択は、取付説明書(左面)の3-③を参照ください。



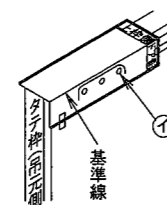
ドア側

型紙3 (左開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。

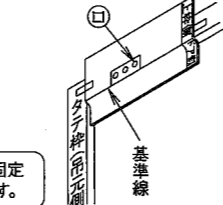
下図1参照
A,Bの選択は取付説明書3-③を参照ください。



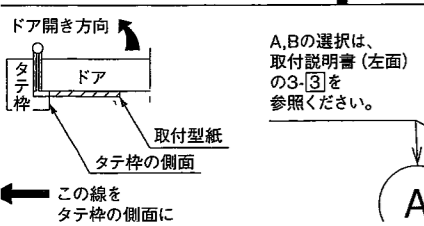
2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。

下図2参照

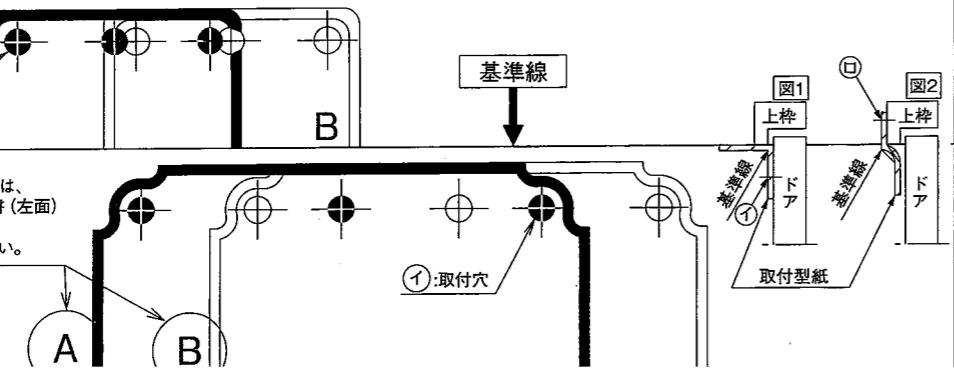
注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。



上枠側



A,Bの選択は、取付説明書(左面)の3-③を参照ください。

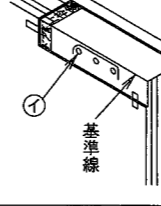


ドア側

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。

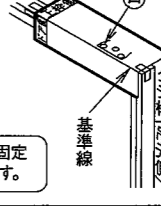
下図1参照
A,Bの選択は取付説明書3-③を参照ください。



2. 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。

下図2参照

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。



型紙4 (右開き用)

上枠側

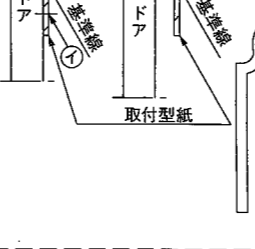
ドア側

上枠側

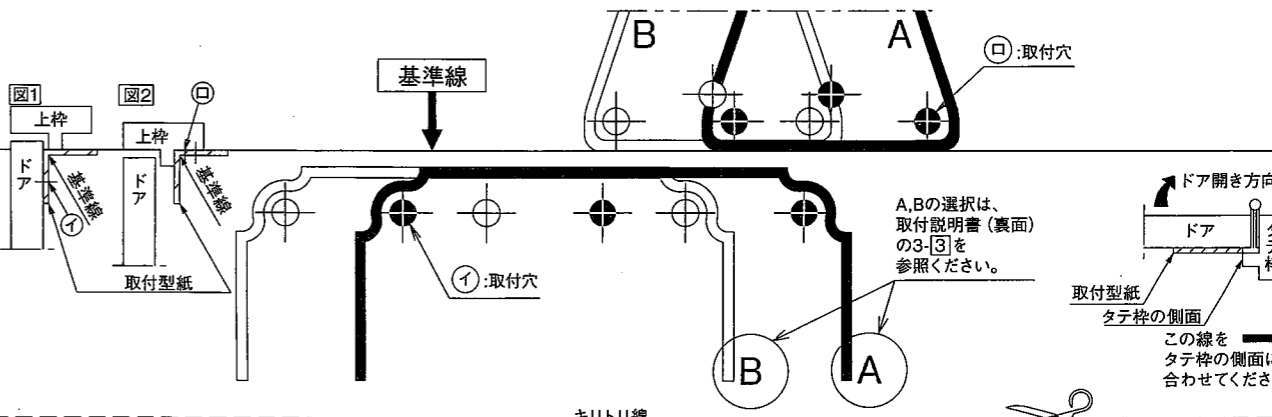
ドア側

上枠側

ドア側



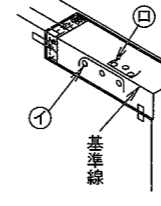
A,Bの選択は、取付説明書(裏面)の3-③を参照ください。



取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板とブラケットの取付穴位置①②を決めてください。

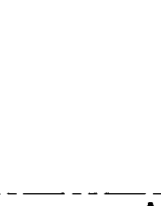
下図1参照
A,Bの選択は取付説明書3-③を参照ください。



2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。

下図2参照

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。



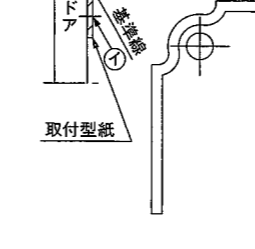
型紙5 (右開き用)

上枠側

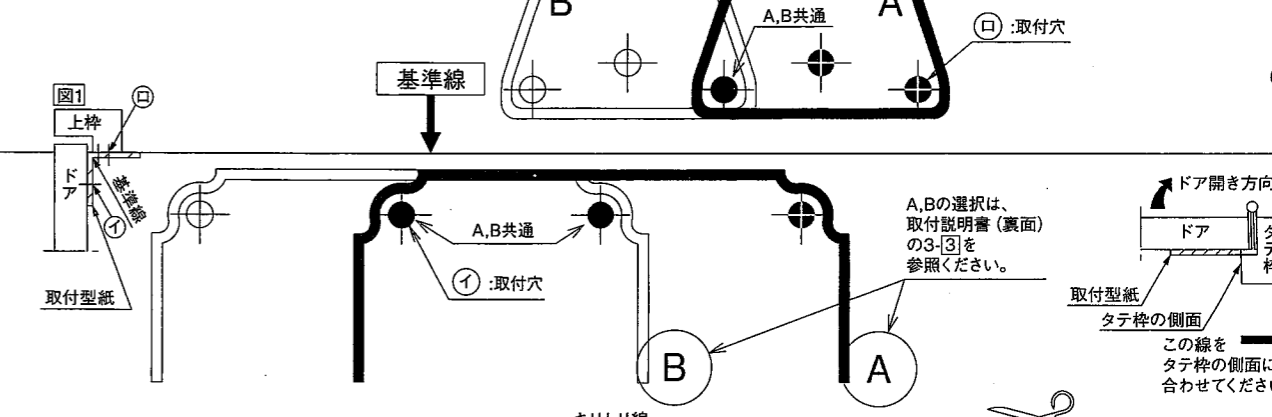
ドア側

上枠側

ドア側



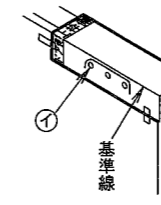
A,Bの選択は、取付説明書(裏面)の3-③を参照ください。



取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。

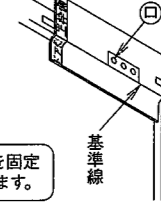
下図1参照
A,Bの選択は取付説明書3-③を参照ください。



2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。

下図2参照

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。



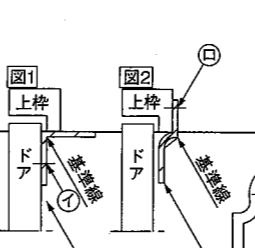
型紙6 (右開き用)

上枠側

ドア側

上枠側

ドア側



A,Bの選択は、取付説明書(裏面)の3-③を参照ください。

